

アゼオトギリ News

～咲かせようアゼオトギリ 広げよう笑顔の花～

アゼオトギリとは？
裏面へどうぞ

アゼオトギリを学ぼう！

多気中学校アゼオトギリ環境学習会を開催！！

令和5年11月14日（火）多気中学校1年生の生徒の皆さんと一緒にアゼオトギリ環境学習会を開催しました。

少し風は強く肌寒い日でしたが、晴天にも恵まれ無事実施することができました。

アゼオトギリを観察する前に、“佐奈川を美しくする会”会長さんより佐奈川の自然環境、歴史についての講話を伺い、地域で大切にされてきた佐奈川の様子を学びました。



📷講話のようす

アゼオトギリを現地ににて観察

堤防の上から自生地の様子を観察しました。

三重県で唯一の自生地である場所の環境の特徴について、事務局より説明しました。

移植地・桜づつみ公園では2016年に移植して7年間も同じ個体が生き残り続けていること、移植地では世代交代が実現できていないこと等を事務局より説明しました。

お話のあとには生徒さん達は、アゼオトギリを撮影、観察し、スケッチも行いました。



📷授業の様子

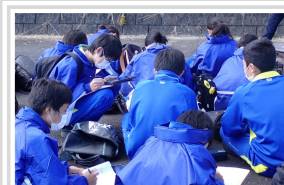
観察の後に学校に戻り、野外学習の振り返り授業を行いました。

授業では、「絶滅危惧種の保全と人の快適な生活（防災）には、ジレンマがある」というテーマで意見を出し合いました。



種子採取用に袋を被せていました

📷移植地
桜づつみ公園にて



今回の環境学習会で、アゼオトギリ保全活動が今どのようになっているかを、多気中学校1年生の皆さんに知って頂き、地域でのアゼオトギリの保全活動の輪が広がることを期待しています。

多気中学校1年生の皆さん、ありがとうございました♪

2 秋のモニタリング調査



来年の春に、結実した種が 芽吹くことを期待しています！



📷 結実の様子

アゼオトギリの自生地や事務局が管理している移植地で、秋のモニタリング調査を10月に行いました。

自生地では新しい個体が2株確認され、7株が結実していました。

移植地では新しい個体はみつきりませんが、例年のとおり、多くの株が種子を实らせました。



📷 アゼオトギリ



📷 アゼオトギリの種子(大きさ1mm未満)

3 佐奈川の貴重な植物～河川水辺の国勢調査の結果紹介～

三重河川国道事務所では、河川水辺の国勢調査※の一環として、今年は植物の生育状況を調査しました。佐奈川でも調査を行い、アゼオトギリ以外にも貴重な植物の生育が確認されました。

※河川環境に配慮した河川管理を進めるため、全国の国土交通省が管理する1級河川で、魚類、底生動物、植物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類を対象に毎年項目を変えながら河川の生物の生息・生育状況を長期間モニタリングしている調査です。



📷 コムラサキ

湿地に生える高さ2m程度の落葉低木。
水辺の改修や伐採、園芸利用による採取の影響で減少しているといわれています。



📷 コガマ

湖沼や溜池、水路などに生える高さ1～1.5mの多年草。
開発を含む様々な環境変化で生育に適した環境が失われたといわれています。



📷 カワヂシャ

水田や川岸、水路などに生える越年草。
外来種との競合・交雑、水辺の改修、水質汚濁により減少している植物です。

アゼオトギリとは？

田んぼの畦や日当たりが良く湿った場所に生える多年草でオトギリソウ科の一種です。三重県内ではH25年に48年ぶりに発見されました。

取扱いには届出が必要です

H29年3月31日三重県指定希少野生動植物種にアゼオトギリが指定されました。採取、移植などの取扱いには三重県に届出が必要です。
※許可なく採取等行うことは条例違反となります。



アゼオトギリニュースHP
問合せ先 ●三重河川国道事務所
流域治水課 TEL059(229)2216

《お気軽にお問合せ下さい》

周りに黄色い花が咲いていませんか？
もしかしたらそれ、アゼオトギリかもしれません。実物が見たい、見つけたかも！ちょっと話を聞きたいなどなど、お気軽にお問合せ下さい。

●多気町 町民環境課 TEL0598(38)1113
建設課 TEL0598(38)1116